

主なIR活動の実績

「株主との建設的な対話の方針」を定め、積極的な情報開示に努めるとともに、株主総会のほか、決算説明会や現場見学会、個別面談などを通じ、建設的な対話の促進を図っています。対話を通じて把握した株主・投資家の意見は、定期的かつ適時・適切に取締役会や経営会議に報告し、経営やIR活動の改善に反映しています。

2022年度実績

株主・投資家との対話	回数	活動状況
機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	4回	社長及び事業部門や財務、経営企画部を担当する取締役・執行役員が出席する決算説明会を2回開催(第2四半期末、年度末) 財務担当取締役及び経営企画部を担当する執行役員が出席する決算説明会を2回開催(第1、第3四半期末)
証券アナリストとのスモールミーティング	1回	社長が出席するスモールミーティングを開催。財務担当取締役及び経営企画部を担当する執行役員も出席し、証券アナリスト6名と対話
機関投資家議決権行使担当者等との個別対話	18回	経営企画部を担当する執行役員のほか、関連する取締役、執行役員並びにIR部門が出席し、Shareholder Relations(シェアホルダーリレーションズ)の一環として定期的に対話
機関投資家・証券アナリストとの個別対話	215回	経営企画部を担当する執行役員並びにIR部門が中心となり、個別に対話。ESGテーマに特化した対話も含む
(国内機関投資家)	(106回)	
(海外機関投資家)	(73回)	
(証券アナリスト)	(36回)	
証券会社主催カンファレンス	2回	IR部門が証券会社主催の海外機関投資家向けカンファレンスに参加

イニシアティブへの参画



社外からの評価

